

# 朝の館内放送

令和4年2月7日

おはようございます、市長の中村健です。

この度、西尾市地域貢献活動応援制度を新たに設け、2月1日から実施しています。制度を作ることとした背景として、主に3点あります。

1点目は地域活性化の視点です。

現在、地域で活動する様々な団体において、高齢化や担い手不足により、団体自体の存続について困難を抱えていたり、そうした団体が社会的に担っている機能の低下が懸念されています。

それに加え、自営業者の減少や、定年退職年齢の引き上げといった社会的な傾向もあり、先に挙げたような団体の存続は、ますます厳しさを増すことが予想されます。

そうした状況の中、現役世代の職員が既存の団体に仲間として加わったり、新たな団体を立ち上げ、市の職員として培ってきた知識や経験を活かすことは、地域を元気にするという観点から大いに意義があることだと考えています。

2点目は、生の市民の声を聴くことができ、それを仕事に活かせるということです。

私自身、就任以降、「市民が主役のまちづくり」を一つの看板として掲げていますが、地域活動やまちづくりの分野で市民と一緒に汗をかき、仲間意識をお互いに持つ間柄で聴ける声というのは非常に大事だと考えています。

市役所の窓口では決して聞くことができない、そのような市民の声をぜひ市政に活かしてほしいと思います。

そして3点目は、人間としての成長、職員としての人間的な幅を広げるということです。

VUCA（ブーカ）という言葉を知ったことはありますか。

VUCAとは、変動制、不確実性、複雑性、曖昧性を表す英単語の頭文字を取った言葉で、今の時代を表す言葉としてよく用いられます。

このような時代においては、知識、経験、技能等において、多様な人材が集まる組織であることが強みとなり、時代的にもそれが求められているといえます。

職員の皆さんにも、様々な社会貢献活動に携わり、その中で得られた気づきや学び、そして築くことができた人間関係を、自らの成長の糧とするとともに、仕事の面でも還元してもらえると非常に有意義であると考えています。

西尾市地域貢献活動応援制度は、それを知った多くの市民から期待されている制度でもあるため、積極的に検討してもらえれば幸いです。

よろしく申し上げます。

以上で、朝の館内放送を終わります。